



◆ 現在（第三次計画）の「将来の環境像」

【キーワード】

自然共生：自然と人間のかかわりの中で豊かな自然環境を保全し、その恵みを適切に活用します

循環：家庭や事業活動から排出される廃棄物等を減らし、できる限り再資源化します

低炭素：地球温暖化の原因である二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を削減します

魅力あふれるまち：良好な生活環境の保全と地域活性化の取組を両立させ、魅力あるまちを将来に繋ぎます。



第三次中津川市環境基本計画で掲げる中津川市の将来の環境像

自然共生・循環・低炭素型の魅力あふれるまち 中津川



◆ 第四次計画のキーワード（案）

【キーワード】

自然共生：自然豊かな森林、清流、田園風景を守り育て、人と自然が調和した持続可能な地域社会を創造します

循環経済：地域資源の循環により環境負荷を減らし、地域経済の活性化を実現します

脱炭素：脱炭素と地域課題の同時解決により、2050年ゼロカーボンを目指します

リニア共生：リニアが開通する2035年まで現在の豊かな自然を維持し、新たなまちづくりと環境保全を両立させます

協働・パートナーシップ：市民・事業者・行政による協働で、みんなで未来を創る社会を構築します。

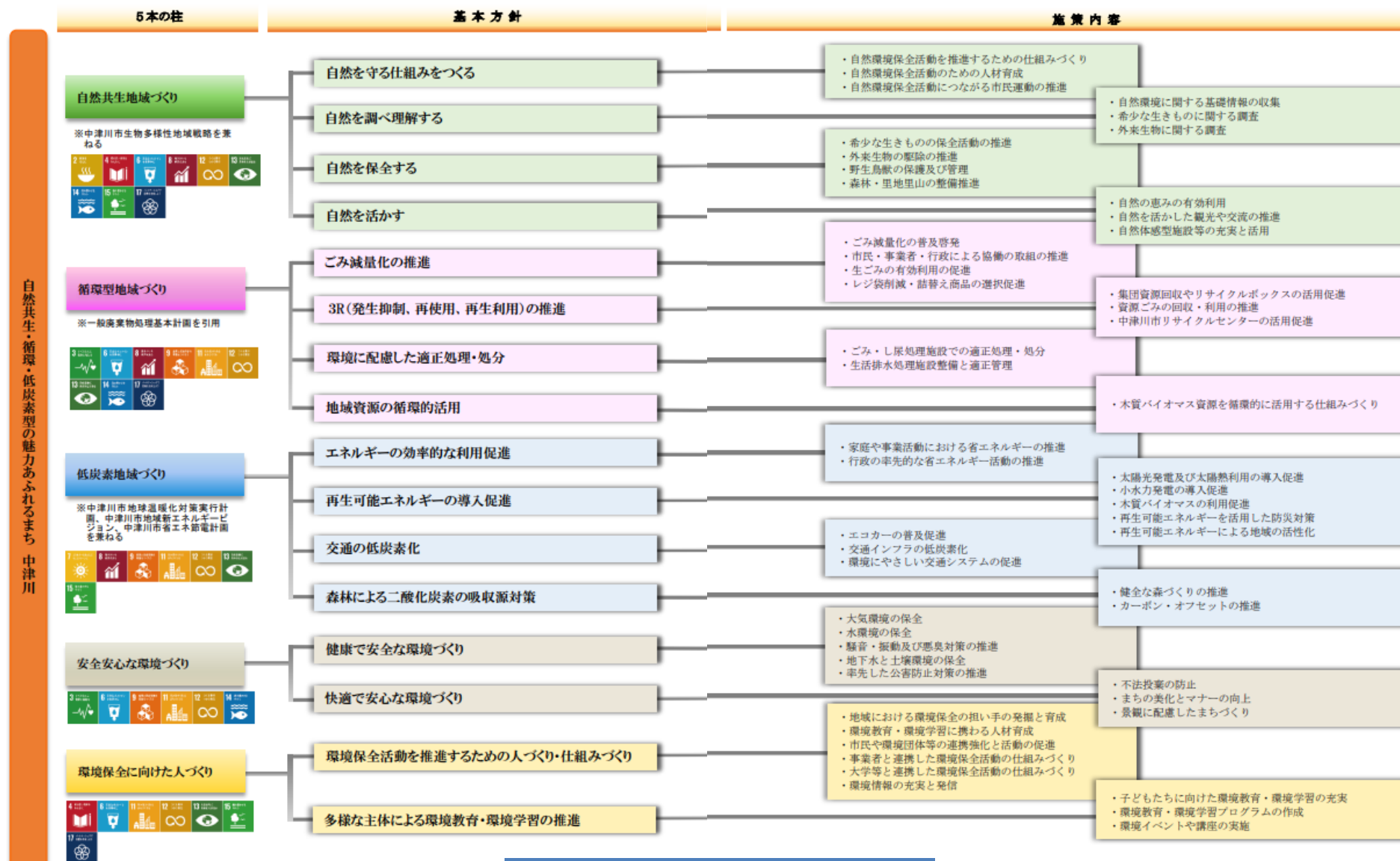
◆ 第四次計画で掲げる「将来の環境像（案）」

「森と清流、未来へつなぐ なかつがわ」

- ・「森と清流」は当市のシンボルであり、自然環境と切り離せないものでもあり中津川市の環境施策で守るべき一番の対象である。
そして、これらは将来のために、みんなで創る・守ることが重要であり、これらの風景を未来につな（繋）げていく情景が将来の中津川像にとっても重要である。



◆ 現在（第三次計画）の施策体系





5つの柱

自然共生：豊かな森林、清流、田園風景を守る

循環経済：大量消費社会から循環経済社会へ

脱炭素：ゼロカーボンシティの達成

リニア共生：安全・安心で暮らしやすいまちづくり

協働：未来を創る人づくりとパートナーシップ

基本方針

1. 森林・清流の保全
2. 農業・畜産の振興
3. 生物多様性の維持と自然共生

1. ごみ減量化の推進
2. 3Rの推進
3. 適正処理・処分の実施
4. ビジョンの共有と新たな施策の実施

1. エネルギーの効率化（省エネ化）
2. 地域貢献型再生可能エネルギーの導入
3. 移動の脱炭素化
4. 新エネルギーの活用・エネルギー転換
5. 森林吸収源・クレジットの活用

1. リニアと共生したまちづくり
2. 健康で安全なまちづくり
3. 快適で安心なまちづくり

1. 地域の環境活動を支える人材の創出
2. 市民・事業者・行政によるパートナーシップの推進
3. 多様な主体による環境教育・環境学習の推進
4. 広報・PRの実施



自然共生：豊かな森林、清流、田園風景を守る

森林・清流の保全

※中津川市林業振興ビジョンと整合性

- ◆ 健全で豊かな森林づくり
- ◆ 持続可能な林業・木材産業の実施
- ◆ 林産物の域内利用の推進（公共施設等における木材利用、間伐材の有効利用）
- ◆ 木曽川流域圏における自治体間連携及び保全の推進
- ◆ 里地・里山・清流・湧水湿地・湖沼等の保全

農業・畜産業の振興

※中津川市農業振興ビジョンと整合性

- ◆ 農地の確保と有効利用（耕作放棄地の解消）、担い手の確保
- ◆ 持続可能な農業の実施、スマート農業（環境配慮型農業）
- ◆ 畜産業の振興
- ◆ 田園風景と調和した景観の形成
- ◆ 地産地消の推進

生物多様性の維持と自然共生

- ◆ 希少動植物（シデコブシ、ハナノキ等）・天然記念物等の指定、調査、保護活動
- ◆ 生物多様性の維持、調査
- ◆ OECM（自然公園等）、自然共生サイト、ビオトープ等の創出・保全
- ◆ 特定外来生物対策（オオキンケイギク、アレチウリ等）
- ◆ 有害鳥獣対策（シカ、イノシシ等）
- ◆ エコツーリズムの実施



循環経済：大量消費社会から循環経済社会へ

※中津川市一般廃棄物処理基本計画と整合性

ごみ減量化の推進

- ◆ ごみ減量化に資する意識向上及び周知・啓発（不用品は買わない、マイバック、詰め替え商品購入、その他取組等）
- ◆ 市民参加によるごみ減量化施策の検討
- ◆ 生ごみの削減（段ボールコンポスト、水切り、食品ロス削減、啓発等）
- ◆ ごみ出しマナーの向上の啓発
- ◆ 事業系ごみの減量化の推進

3 Rの推進

- ◆ 3 Rに係る意識向上及び周知啓発（ごみ分別支援アプリの導入・配信、学習用教材の提供、不用品紹介制度の検討、大型ごみ等のリユース促進）
- ◆ 資源化の実施（紙・布類、刈草・選定枝、スチロール）
- ◆ 集団資源回収活動の活性化、リサイクルボックスの利用促進、店頭回収の活用
- ◆ 啓発プラザの有効活用
- ◆ 事業系ごみのリサイクル促進
- ◆ 下水汚泥等のリサイクルの推進（リン回収を含む）

適正処理・処分の実施

- ◆ 適正な収収運搬計画、中間処理計画、最終処分計画の立案
- ◆ 不適正処理の防止及び快適環境の創出
- ◆ 災害時における安全・安心な廃棄物処理体制の確立
- ◆ 上下水道施設における適切な運用と維持管理

ビジョンの共有と新たな施策の実施

- ◆ 市民参加の促進（ごみ減量検討市民会議、住みよい環境づくり推進員）
- ◆ 資源化を高める新たな施策の検討
- ◆ 近隣自治体と連携した広域的なごみ処理システムの検討



脱炭素：ゼロカーボンシティの達成

※中津川市地域脱炭素ロードマップと整合

エネルギーの効率化（省エネ化）の活用

- ◆ 家庭・オフィス等における省エネ型設備の導入（LED、高効率空調、高効率給湯等）
- ◆ 省エネ活動の推進（デコ活の実施）
- ◆ 新築時、ZEH、ZEB等の環境に配慮した建築物に切り替え
- ◆ 工場等における省エネ診断の受診及び省エネ化の実施
- ◆ 蓄電池の導入による効率的な電力利用の実施

地域貢献型の再生可能エネルギーの導入

- ◆ 家庭における太陽光発電・太陽熱利用設備の導入
- ◆ 工場、公共施設等における太陽光発電の導入
- ◆ 駐車場、耕作放棄地、水道施設、河川等、あらゆる場所への再エネ導入の検討
- ◆ 剪定枝、間伐材、畜産廃棄物等のバイオマスの活用
- ◆ 災害時の再エネ電力利用の検討

移動の脱炭素化

- ◆ 電気自動車（EV）や次世代自動車の促進、急速充電機の導入、エコドライブ推進
- ◆ 公共交通機関、徒歩、自転車等の移動の促進
- ◆ 交通インフラの脱炭素化（渋滞の解消、道路の高効率化、バス・タクシーのEV化等）

新エネルギーの活用・エネルギー転換

- ◆ バイオディーゼル燃料（BDF）の活用
- ◆ 水素エネルギーの利活用
- ◆ 電力プランの再エネ由来電力使用プランへの切り替え

森林吸収源・クレジットの活用

- ◆ 適切な森林管理によるCO2吸収量の増加
- ◆ J-クレジット、G-クレジットの創出及び活用



リニア共生：安全・安心で暮らしやすいまちづくり

リニアと共生したまちづくり

- ◆ 環境に配慮したリニア工事の実施
- ◆ 環境に配慮したリニア駅周辺のまちづくり

健康で安全なまちづくり

- ◆ 公害に係る監視・測定・調査・指導等（大気汚染、河川、水質汚濁、騒音・振動、悪臭）
- ◆ 水環境の保全（河川等の水質改善、下水道・合併浄化槽接続、農薬の適正使用）
- ◆ 地下水・土壌環境の保全
- ◆ 公害防止対策（公害防止協定、太陽光発電の設置等に係る乱開発の防止）

快適で安心なまちづくり

- ◆ 不法投棄の防止
- ◆ ポイ捨て防止の啓発
- ◆ 市内一斉清掃、その他ボランティア清掃の推進
- ◆ 野外焼却（野焼き）への指導
- ◆ 都市緑化・公園緑化の推進
- ◆ 良好な景観形成の推進



協働：未来を創る人づくりとパートナーシップ

地域の環境活動を支える人材の創出

- ◆ 環境保全活動に向けた人材の育成（講習会の開催、人材登録制度の創出、担当教諭への事前研修の実施、木育・河川環境学習に係る講習会の実施）

多様な主体による環境教育・環境学習の推進

- ◆ 幼児学習、小中学校、社会学習などあらゆる場面での環境教育・環境学習の実践
- ◆ 木育の実施（木遊館の運営を含む）
- ◆ 河川に関する環境教育の実施（カワゲラウォッチングを含む）
- ◆ ごみの分別・削減・リサイクル等に関する環境教育・環境学習の実践
- ◆ 地球温暖化や脱炭素に関する環境教育・環境学習の実践
- ◆ 環境教育を行うフィールドの創出（環境センター、下水センター、污泥処理センター、木遊館、鉱物博物館、子ども科学館）
- ◆ 環境学習プログラムの作成
- ◆ 環境に関する出前講座の実施

市民・事業者・行政によるパートナーシップの推進

- ◆ 地域が主体となった環境活動の実施の推進
- ◆ 環境活動を行う市民団体や事業者等への支援
- ◆ 市民団体・事業者等に係るパートナーシップの醸成（マッチング機能等）
- ◆ 市民団体・事業者・学識者等と協働した環境教育・環境学習・環境施策の実施
- ◆ 計画立案時等における市民・市民団体・事業者の参画

広報・PRの実施

- ◆ 市内の環境取組等に関する広報・PR・情報提供の実施
- ◆ 環境に係るイベントの実施



◆ 「重点戦略」とは…

- 第4次中津川市環境基本計画を実行するにあたって、分野横断的かつ経済・社会の課題解決にもつながる特に重要度が高い施策・取組を「重点戦略」と位置付けます。

◆ 「重点戦略」 (案)

	戦略名	課題分野	概要及び具体的な施策・方向性
戦略 1	豊かな森林資源を活かした 包括的脱炭素戦略	林業× 脱炭素×循環経済	✓ G-クレジット・J-クレジット創出拡大と市内企業への優先販売 ✓ 市主導による木質バイオマス事業拡大支援 ✓ 森林環境譲与税の効果的活用による森林整備・木材利用促進 ✓ 間伐材・剪定枝の地域内循環利用システム構築 ✓ 森林CO2吸収量の見える化と市民への普及啓発
戦略 2	地域経済の活性化と 人口減少に対応する 資源循環戦略	農林畜産業×人口減少× 循環経済	✓ 市民と協働した古紙・プラスチック等の分別回収及びリサイクル ✓ 有機資源の回収及び地域内循環（農畜連携による有機資源の活用、剪定枝の堆肥化、下水道汚泥からのリン回収、バイオディーゼル燃料の推進） ✓ 食品ロス削減と地産地消の推進 ✓ ごみ処理施設の広域化、下水処理施設の統合化
戦略 3	市民・事業者協働による 自然共生・自然保護戦略	自然共生× 協働・パートナーシップ	✓ 市民団体による希少植物（シデコブシ・ハナノキ等）や天然記念物の保護 ✓ 市民団体と協働した自然環境教育の実施（カワゲラウォッチング等） ✓ 企業や大学との連携による自然共生サイト認定の推進 ✓ 環境保全活動の担い手育成・世代間継承支援のためのパートナーシップ強化

※試案段階につき一部施策の重複あり

検討事項③ 重点戦略(案)

資料 2 - 2



	戦略名	課題分野	概要及び具体的な施策・方向性
戦略 4	次世代の環境取組を担う 環境人材育成戦略	脱炭素×循環経済× 自然共生×環境教育× 協働・パートナーシップ	✓ 地域と連携した環境教育・環境学習の推進 ✓ カワゲラウォッチングの実施と継続プログラム化支援 ✓ 木遊館を拠点とした森林・木育プログラムの拡充 ✓ 大学・企業との連携による実践的環境教育プログラムの開発 ✓ 環境保全活動の担い手育成・世代間継承支援のためのパートナーシップ強化 ✓ 市民向け「大人の学び」環境講座の実施
戦略 5	リニア開通を見据えた 環境配慮型まちづくり戦略	リニア× 脱炭素×自然共生	✓ リニア開通に伴う環境配慮型駅周辺まちづくり ✓ 文化、自然、景観が調和した駅前エリアの形成 ✓ 中津川西部テクノパーク（仮）の脱炭素化 ✓ 工事期間中の環境保全対策強化と生態系保全
戦略 6	気候変動に適応した 一体型防災戦略	林業×防災× 脱炭素×循環経済	✓ 避難所への太陽光発電・蓄電池設置によるレジリエンス強化 ✓ 災害廃棄物処理体制の構築・広域的な連携強化 ✓ 森林整備による土砂災害防止と脱炭素の統合的解決 ✓ グリーンインフラの実施による治水・環境保全の両立 ✓ 備蓄食料のローリングストック推進による食品ロス削減
戦略 7	自然資源を活かした 観光振興戦略	観光×自然共生	✓ 希少植物や天然記念物のPRによる観光資源化 ✓ エコツーリズム・自然体験プログラムの展開のための部局間連携 ✓ 近隣市町村と連携した広域的な自然観光ネットワークの構築 ✓ 豊かな田園風景を維持するための法整備・制度整備 ✓ 有害鳥獣駆除×観光資源に資する施策展開（ジビエ料理等）
戦略 8	持続可能な農林畜産業と 環境保全の統合戦略	農林畜産業×脱炭素× 循環経済×自然共生× 協働・パートナーシップ	✓ 耕作放棄地への適正な太陽光導入 ✓ スマート農業・環境配慮型農業の技術支援強化 ✓ 田んぼの中干し期間延長など新たな脱炭素クレジット創出手法の実施 ✓ 有害鳥獣対策と生態系保全の両立 ✓ 農畜連携による地域内資源循環システムの構築

※試案段階につき一部施策の重複あり